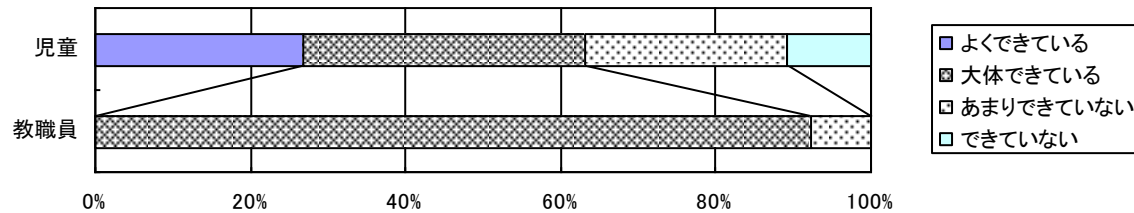


◎児童・保護者・教職員へのアンケートをそれぞれ関連する項目ごとに比較し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つの観点から、前期と同じ項目（と関連する項目）について分析・考察をしました。

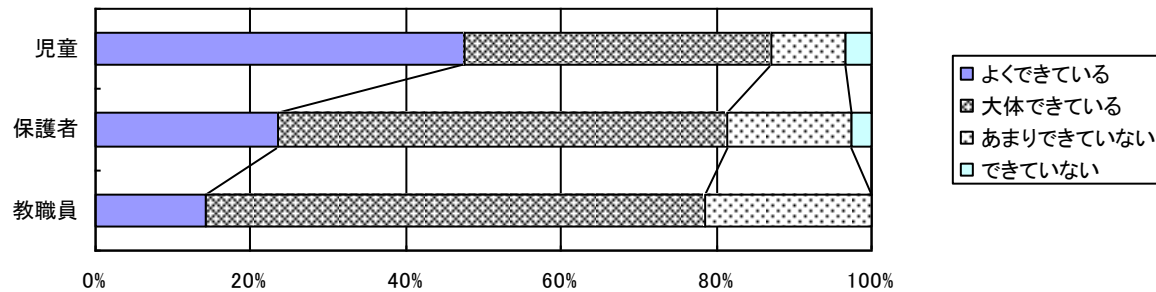
①「確かな学力」の育成に関わる内容

- ・学校では自分の思いや考えを安心して発表できる。（児童）
- ・学習中に自分の思いや考えを表現できる場を設定している。（教職員）

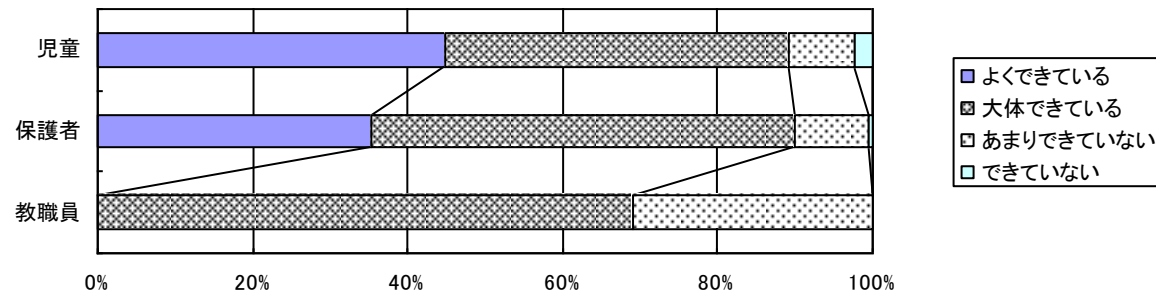


②「豊かな心」の育成に関わる内容

- ・いつも人への思いやりや感謝の気持ちを大切にしている。（児童）
- ・お子さんは人への思いやりや感謝の気持ちを言葉や行動で表している。（保護者）
- ・子どもたちは、人への思いやりや感謝の気持ちを言葉や行動で表している。（教職員）



- ・お互いの良さを認め合い、自分も友だちも大切にしようとしている。（児童）
- ・自分を大切に思うことや友だちも大切にすることなどお互いの良さを認め、仲良くしようとしている。（保護者）
- ・お互いを認め高め合おうとする学級になってきている。（教職員）



*子どもたち一人一人は、人への思いやりや感謝の気持ちが育まれてきていると思われますが、お互いを高め合おうとする学習集団としては、まだまだであることが分かります。子どもたちが意欲的に取り組むことのできる学習づくり・学級経営、学校での生活習慣や学習規律などの社会性の育成について、来年度も時間をかけて粘り強く取り組んでいきたいと考えています。

③「健やかな体」の育成に関わる内容

- ・外で元気に遊んだり体を動かしたりする。この項目では、保護者と児童の実現度は前期と比べると、若干下がっていましたが、大きな変化はありませんでした。（グラフ省略）これからも、地域の一員として、遊ぶ場所のルールや約束を守って元気に遊んだり体を動かしたりしてほしいと思います。

【学校関係者評価】 3月3日（火）

- ・「安心して発表…」子どもたちは、発表しようとする思いはあるが、思ったよりできなかったのではないかな。そう考えると、まだまだ伸びしろがある。
- ・「自分から挨拶」今の社会状況では、難しい面があるのではないかな。確実に知っている人ならしっかり挨拶してくれる。地域での関係づくりが大切である。日によって個々によっても違いがある。長い目で見守っていきいたい。
- ・「家庭学習・読書習慣」学校の図書室の環境づくり、環境整備を進められるといいのではないかな。
- ・児童の評価が前期より下がっているが、後期になれば、自分の到達点が上がってくることが考えられる。前期と質問内容や項目を変えて評価してもいいのではないかな。
- ・大人が思うよりも子どもたちが高く自己評価をしていることは良いことである。
- ・児童・保護者・教職員三者の結果にずれがあることにより、次の課題が見えてくる。それが良い結果につながるよう取組を進めてほしい。

【保護者アンケートの記述欄より】 （まとめた形で載せさせていただいています。）

～お互いを認め、高め合う子どもの姿が見られた活動・取組や行事について～

- ・担任の先生が親身になって考え、相談にのってくださいます。
- ・先生方が個性を認め合える言動を伝えること。
- ・日々の授業の中で、考えたり話し合ったりする取組は、色々な考えをもつ人がいるということに気づき、認め合うきっかけづくりになっていると思います。
- ・自分が困っている時に友達が優しく教えてくれたことを子どもから聞きました。
- ・友達の良いところを自分のことのように話す我が子の姿から。
- ・学級内にいいこと・悪いことを話し合える雰囲気ができている。
- ・普段の学習中の子どもたちの様子。
- ・運動会で、学年を問わず一緒に喜んだり悔しがったり、一生懸命応援する姿、素直に気持ちを表現する姿に成長を感じました。運動会での団体競技・団体演技。教室内では、見られない姿が大切だと思います。理屈でなく心で感じられることが大切だと思います。
- ・学習発表会での一生懸命取り組む姿でした。
- ・ゆめタイム ・おやじの会、ふれあいサタデー ・部活動 ・スチューデントシティ学習
- ・集団登校は、時間を守らなければ迷惑をかけるなど責任感や他人を気遣う気持ちをもてるので良いと思う。
- ・マラソン大会、大文字駅伝などへの積極的な取組があると、子どもたちの姿が見られるのではないかな。
- * 特になかった。見られなかった。という記述もありました。

学校としては、大変残念なことではありますが、来年度もお互いを認め高め合う子どもの姿を目指し、より充実した取組を進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。